

別記様式（第5条関係）

会 議 録

会議の名称		令和6年度 第3回福津市観光産業活性化協議会
開催日時		令和7年3月3日（月）午後3時00分～午後4時30分
開催場所		福津市役所 別館大ホールCDE
委員名		（1）出席委員 永松毅文 増田美佐子 浄見譲 森田誠 小役丸秀一 藤田裕美子 黒田伸太郎 山口尚志 （2）欠席委員 佐藤聡 塩川浩一
所管課職員職氏名		経済産業部 宮原栄介 観光振興課長 波多野哲平 商工振興課長 梶原龍生 観光振興係長 清水翔平 観光振興係 花田智美
会 議	議 題 （内 容）	1. 開会 2. 会議録の作成方針の決定 3. 議事 （1）来訪者の回遊性促進のための取組について （2）これまでの振り返り （3）その他 4. 閉会
	公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部公開
	非公開の理由	
	傍聴者の数	1 名
	資料の名称	資料1 観光産業活性化協議会委員名簿
会議録の作成方針		☐ 録音テープを使用した全文記録
		☒ 録音テープを使用した要点記録
		☐ 要点記録
		記録内容の確認方法 会長が指名する委員による確認
その他の必要事項		

審議内容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 開会

2. 会議録の作成方針の決定

事務局：福津市附属機関の会議の公開に関する要綱、福津市会議録作成要綱について説明。

決定事項：会議の公開。事務局により会議録案を作成し、委員による確認の上で会議録の完成とする。

永松会長：出席委員のうち、黒田委員及び増田委員に会議録の確認依頼をすることの提案。

決定事項：会議録の確認は、黒田委員及び増田委員とする。

3. 議事

(1) 来訪者の回遊性促進のための取組について

(事務局) 他自治体等の取組について、各ホームページをスクリーンに投影して事例紹介。

(永松会長) 事務局からの事例紹介及び前回からの引き続きの議論として、福津市を来訪した方により回遊してもらうために、どういったことをすればいいのか、どういった場所に訪れてもらいたいかなどの観点から、委員の皆様からご意見等をお願いします。

(山口委員) 私自身が初めて福津市を来訪し、宮地嶽神社に行く想定した場合、JR福間駅から西鉄バスで行けることは分かると思います。そのため、駅からというよりは、宮地嶽神社に行った後にどこを回遊するのかということを考えた方が良いと思います。また、宮地嶽神社から海や津屋崎千軒などに行けるように、レンタサイクルやタクシーの定額プランがあれば良いと思います。

(黒田委員) 回遊性促進のための手段として考えたのは、自動車以外で回遊できるルートが物理的な道路表示や、ここを行けばよいという分かりやすい表示などがあると良いなと思います。

(藤田委員) 私もサインがあると良いと思います。真っすぐ行くとしても何分くらい歩くのかという目安が分かれば回遊しやすいのかなと思いました。また、予算の関係もあると思いますが、ふくつミニバスの見た目が地味でなかなか乗ろうと思えないので、他自治体のようにかわいくラッピングすると乗ろうと思えるのではないかと思います。

(小役丸委員) 観光全般のことになりますが、一次産業を含む全体の産業としての観光を目指すべきだと思います。今までの物見遊山から様々な目的を持った体験型の観光に変わっていく中で、福津市だけではなく宗像市、岡垣町、芦屋町などを含めた広域で観光を考えていくべきではないでしょうか。その中で、泊まる、お参りする、食べるなどの観光をしてもらえたら良いのではないかと思います。また、福津市では、宮地嶽神社に来た人を海や飲食店などに、どれだけ引っ張って来ることができるのか、ど

- うすれば地域全体に波及させることができるのか、ということが課題ですが、糸島市のタクシー会社が行政からの補助金を活用して10人乗りの車を数台購入し、周遊に役立てているのは参考になると思います。このような取組は、民間事業者だけでは難しいことであるため、民間事業者と行政が一体となり、地域活性化の一つとして取り組むことができれば良いと思います。さらに、観光を進める上でオーバーツーリズムの問題が必ず出てきますが、地域の人にとって人が来てうるさいではなく、人が来て嬉しいと思える観光にできればいいなと思います。例えば、福津名産のトルコギキョウなどお花を絡めたお花狩りなど他になかなかない体験でうまく観光客を惹きつけることができれば、福津方式の観光が実現できるのではないかと思います。
- (増田委員) ふくつミニバスは、地域の人々の生活のためというのが成り立ちだと聞いていますが、観光の視点で考えた際に一番活用したい日曜日に運休しています。そのため、新たに何か考えるよりも、既に市内を走っているふくつミニバスを日曜日に観光のために走らせると良いと思います。また、行った先に魅力があればどんな手段でも行きたくなると思うため、そこでしかできない体験や楽しみなどがあると良いと思います。例えば、古墳は重要な資源ですが景色の一部のようになっており、お金が落ちず滞在時間も短いため、そこでしか買えないものがあると良いと思います。
- (森田委員) お魚センターうみがめを運営しているため、買い物に来てもらうためにどうしたら良いかを考えることが多いですが、観光に関しては、お客様から福津のお魚を食べられるお店を聞かれた際に、福津産の魚を取り扱っているお店が少なく紹介しづらいなと思うことが多いです。福津いいざいとして、飲食店に対して福津産の食材の営業を行うこともあります。なかなか難しい現状があります。また、波折神社や豊村酒造など行けば良さが分かる場所も多いと思いますが、行こうと思えないのはPRの仕方が下手なのではないかと思います。そのため、どうやって来てもらえるのかを観光スポット一軒一軒が考え、PRの仕方を工夫しないといけないのかなと思います。
- (永松会長) 食材や食品、買い物は観光と言われる業態の中で、来てもらうための大きな要素であるため、観光素材として活かしていくべきだと思います。実際に、福津産の魚を提供している飲食店が少ないとのことでしたが、福津産の食材を使用していない店舗であってもお客様が増えることで市に対する納税など市民への還元につながると思います。そのため、福津産を使用していない飲食店も含めた情報発信や、もっと多くの飲食店に福津産の食材を使用してもらうためにどうすれば良いのかについて、今後も考えていく必要があると思います。
- (浄見委員) 私は、イメージ戦略が全くできていないと思います。福津市と言えはかがみの海、宮地嶽神社と言えは光の道というイメージの先を、どのように広げていくのが大事だと思います。例えば、光の道や風鈴まつりでは、夕方から多くの人々が訪れますが、この人たちを取り込めるような昼間から夕方または夜にか

けてのプランがあると良いと思います。新原・奴山古墳群や津屋崎千軒などすべてを盛り込もうとすると収拾がつかなくなるため、まずは、J R 福間駅→福間海岸→宮地嶽神社を周遊する光の道をデザインしたラッピングバスを走らせるのが良いのではないかと考えています。そうすることで、街の中に観光客が入っていき、夕方に福間海岸の飲食店で食事をした後に宮地嶽神社を訪れる人も増えると思います。そして、ステップアップとして、街の中に入ってきた人を新原・奴山古墳群や津屋崎千軒へ誘導するような取り組みを行うと良いと思います。実際に宮地嶽神社では、10 人乗りくらいの日野自動車のポンチョというバスの購入を検討したことがあります。さらに、今後は運転手不足の問題もあるため、許認可の問題はありますが、NAVYA というフランスの無人電気自動車を走らせるのも話題性がある投資ではないかと思っています。また、宮地嶽神社では正月の三が日に、平和タクシーや福栄タクシーから 10 人ほど乗れる車を借りて巡回バスを走らせていますが、毎日 1,000～1,500 人が乗車しているため、需要はあると思います。

(小役丸委員) 以前、増田委員が馬車を運行していましたが、馬車事業は難しいものだったのでしょうか。

(増田委員) 馬車は非常に魅力あるコンテンツで、約 10 年間運行しました。馬車は、時速 4km ほどの人間が歩くスピードを同じくらいで進むため、古墳などをゆっくり楽しむためのコンテンツでしたが、馬車を引くための馬を維持するための労力と費用がかかっていました。また、馬車は輸入などで手に入りますが、馬車を曳く馬に関しては訓練されているだけでなく性格や年齢の問題もあり、馬を維持することは難しいことでした。

(小役丸委員) 例えば、湯布院では、馬車 3 台を使い、何十年も観光の名物となっています。福津市では、日野のポンチョと馬車を交互に走らせることができれば夢があるなと思いました。

(増田委員) 湯布院では 3 つの馬車事業者が協同組合となり、馬車事業を運営していると聞いています。1 社ではなく 3 社だからこそ、運営できていると思います。さらに、湯布院のまちを開発する際に馬車を走らせることを想定していたため、成功している事例だと思います。また、馬に関して、昔走っていた馬車鉄道は馬の負担が少なく話題性があるため、以前、市長へ相談したことがあります。道路の上に後から敷設することは難しいとの回答でした。

(永松会長) 湯布院の馬車は、何十年も前から運行されていますが、これは食を含めた多くの店舗があり、オーバーツーリズムの問題を抱える程多くの来訪者がある中で成り立っている例として、参考になると思います。

委員の皆様の意見をまとめると、まず、福津市に来てからの二次交通について交通手段を含めての色々な意見がありました。宮地嶽神社を起点としてレンタサイクルを活用することについて意見がありましたが、自転車を漕ぐのがきつい人についてはレンタルバイクやスクーターの仕組みの活用も含めて今後検討できれば良いと思います。また、J R 福間駅と海岸、宮地嶽神

社をつなぐ周遊バスや、平日を中心に運行しているふくつミニバスを日曜日に観光のために運行すること、ふくつミニバスを来た人が乗ろうと思えるような見た目にすることについて意見がありました。次に、福津市に来た人にとって気づきやすく分かりやすい表示やサインを整備することが必要であるとの意見も複数ありました。他にも、福津市だけでなく近隣の自治体を含めた広域な視点を持った観光も考えた方が良いのではないかという意見がありました。委員の皆様から出た意見については、市に提言した上で、市の中で優先順位を付けた上で検討して欲しいと思います。委員の皆様からの追加意見や修正などはありませんか。

(全委員) (異議なし)

(2) これまでの振り返り

(事務局) 令和5年第1回目から計4回の概要について説明。また、協議の結果について、現任期の委員からの報告書としてまとめること、その報告書は会長に一任して作成することについて提案した。

(永松会長) 事務局からの報告及び報告書の作成方法について、質問などありませんか。

(全委員) (異議なし)

(3) その他

(永松会長) 委員の皆様からお伝えしたいことがあれば、お伺いしたいと思います。いかがでしょうか。

(全委員) (特になし)

(永松会長) 以上で、議事を終了します。皆様、2年間を通して貴重なご意見をいただきありがとうございました。

4. 閉会